

プログラム テーマ：ペーパーレスはいつ来るか ～無いと不便だが有ると邪魔な紙～

講演時間	講演内容	講師	Abstract
9:30 ~ 9:35	実行委員長挨拶	廣島 進 (京セラ ドキュメントソリューションズ株式会社)	
9:35 ~ 10:15	紙の10年、役割と価値	平倉 浩治 (HiRAK Consulting)	<p>情報通信インフラ、端末の相補的革新によってマスメディアの一翼を担ってきた新聞、雑誌、広告冊子など紙メディアの発行部数が下がってきている。オフィス業務においても、ワークスタイルの変化も相俟って複写、プリント量の成長は伸び悩んでいる。要するに、紙の役割と価値が急速に変化していることが主因だと考えられる。</p> <p>近年のトレンドから今後、情報用紙は限りなく減少を続けるという悲観的な見方がある。過去10年の間に起きた決定的な出来事を振り返り、マクロ及びミクロな視点から分析することにより紙の今後、役割と価値の変化について議論したい。</p>
10:15 ~ 10:55	オフィスにおける紙と情報 ー働き方の変化とオフィスがこれからどうなるかー	齋藤 敦子 (コクヨ株式会社)	<p>高度情報化やデジタル社会の到来により、企業の生産性やホワイトカラーの働き方は30年前と比べて大きく変化している。情報技術の進展、グローバル競争、人口縮小によるワーカーの多様化、ビジネスモデルのイノベーションなどにより、20世紀型のトップダウン分業型のオフィスは機能しなくなり、組織内外の共創を重視した新しいオフィスに刷新する企業が増えている。また、昨今は働き方改革への注目度が高く、ペーパーレスや時間と場所に制約されないフレキシブルな働き方に挑戦する企業や自治体もある。実態として、オフィスの格差が広がっていく中で、オフィスにおける紙と情報について、過去・現在・未来を展望する。</p>
10:55 ~ 11:10	ー休憩ー		
11:10 ~ 11:50	電気泳動方式電子ペーパーのペーパーレス化 アプリケーション動向～Beyond Paper	橋本 圭介 (E Ink Japan 株式会社)	<p>2000年代半ば以降、電気泳動方式電子ペーパーは、その視認性、長時間可読性に優れた特徴を生かして主に電子書籍端末用途として普及し、書籍の電子化に大きな貢献をしてきた。更に、Bi-stable、低消費電力、などの従来の特徴に加えて、フレキシブル電子ペーパーの実現による薄型軽量化、そしてペンライティング機能等の付加価値の追求、カラーフィルター及びピグメント方式カラー電子ペーパーの開発などを行ってきた。本講演では、これらによる今後のペーパーレス化に貢献できる、幅広いアプリケーション展開を紹介する。</p>
11:50 ~ 13:00	ー休憩ー		
13:00 ~ 13:40	変わる印刷会社のビジネスアプローチ ～顧客視点への移行とクロスメディアソリューション提案～	宮本 泰夫 (株式会社バリューマシントーナショナル)	<p>近年、ペーパーレスという言葉が一般的に利用されているように、いわゆる印刷物は減少の一途を辿ってきた。印刷発注サイドのコスト削減や環境対応や、消費者ニーズの多様化による小ロット化、さらにはオンラインメディアの登場による、ペーパーメディアのもつ役割の変化などがこの潮流を生んでいるものと考えられる。印刷市場において大きなウェイトを占める販売促進や情報伝達メディアとしてのペーパーメディアは、こうした背景を受けてどのように変化を続けているのか、オンライン・オフライン連携や、クロスメディアソリューションといったキーワードにより、ペーパーメディアの変化と有用性、今後の動向などを紹介する。</p>
13:40 ~ 14:20	「印刷の未来を変える EPSON の高速インクジェット複合機と紙再生機」 Epson will change the future of printing by LIJ-MFP and paper recycling machine	細野 聡 (セイコーエプソン株式会社)	<p>EPSON は、高速印刷(100枚/分)と、高画質(600×1200dpi)を両立し、かつ優れた環境性能(最大消費電力320W、定期交換部品1/5)を実現する高速ラインインクジェット複合機を開発し、発売しました。また、紙のリサイクルを大量の水を使うことなくオフィスで実現できる紙の再生機を開発し、発売しました。</p> <p>EPSON は、大量印刷時のストレスを軽減すると共に、環境性能にも機密性にも優れた紙の循環型オフィスをお客様に提案し、印刷の未来を変えていきます。</p>
14:20 ~ 14:35	ー休憩ー		
14:35 ~ 15:15	ペーパーレスはなぜ来ないのか？紙はどこで使われ続けるのか？	柴田 博仁 (富士ゼロックス株式会社)	<p>オフィスでの紙の消費量は減少傾向にありますが、ペーパーレスには程遠い状態です。その理由として、(1)読み書きのメディアとして紙が優れているから、(2)紙で作られたワークスタイルを変えるコストが高いから、という2つの要因が考えられます。本講演では、どちらの要因がどれほどオフィスでの紙の消費量に関与しているのか、今後、ペーパーレス化がどのように推移していくのかについて考察してみようと思います。</p>
15:15 ~ 15:30	ー休憩ー		
15:30 ~ 16:50	パネルディスカッション	パネラ:講師の皆様	
16:50 ~ 16:55	日本画像学会 関西委員長 挨拶	狩野 篤(京セラ ドキュメントソリューションズ株式会社)	